

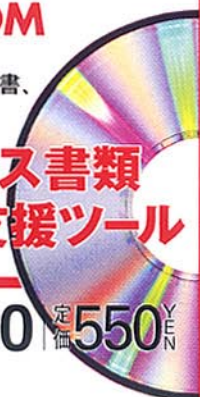
「マインドマップ文書術」「トヨタ式A3資料」…最強の書類作成術

日経ビジネス Associé

特別付録
CD-ROM

通知書、報告書、
提案書…

ビジネス書類
作成支援ツール



2005年9月20日発行(毎月2回第1・第3火曜日発行) 第4巻第20号通巻74号 2002年10月3日第三種郵便物認可

アソシエ 2005 09・20 定価 550 YEN

説得力も評価もUP ビジネス文書作成の極意

最強の書類術



上司の65%が
「書類作りが上手い部下は
仕事もできる」と認識

トヨタ社員の改善魂を支える
「何でもA3用紙1枚」の文書術

説得力を大幅に高める
「マインドマップ文書術」

即断即決を支える
「あしか文書術」

顧客の琴線を揺らす
「朗読文書術」

あなたの市場価値を高める
「ハイパー経歴書」とは

スペシャルレポート

新浪剛史 ローソン社長
松井道夫 松井証券社長
伊藤正裕 ヤッパ社長

経営トップとビジネスパーソンが
本音で語る

20時間寺子屋対談

3分でわかる大人ニュース
郵政民営化だけではなく
新政権の課題

毎月第1、第3火曜日 発売

野田 岳仁

NPO法人Waterscape代表理事

1人当たりの1日の水の消費量は320リットルと
世界で5本の指に入る水消費大国、日本。
「水問題」の第一人者である若者の地道な活動が続く。

＝ 敬称略



野田(左)と「愛知万博」での国際フォーラムに参加するために来日したセツァ・ドラミニ(右)

text by 小田舞子・photographs by 北山宏一

「水

をテーマに活動していき
すと言つと、「この水が
おいしいの？」と聞かれ
るんです」。限りある水資源につ
いて考え、行動するNPO法人(特
定非営利活動法人) Waterscape
代表、野田岳仁はこう言つて笑つ
た。年齢は24歳。日本を代表する水問
題の若き専門家である。

野田が言う「水問題」の範囲は
広い。国連会議やWTO(世界貿易
機関)閣僚会議など国際会議への
参加、「ユース世界水フォーラム」
などのイベントプロデュース、講演、
CSR(企業の社会的責任)活動支
援など、地球全体の水を守るため
に様々な活動を行っている。
「年間降水量を人口で割り、国内
で調達できる国民1人分の水量を
割り出すと、日本は世界106位。

一方、国民1人分の消費量は1日
約320リットルと世界で5本の
指に入ります。水消費大国の国民
が水について真剣に考えるのは義
務だと思ひます」と野田は言う
(数字は「FAO Aquastat 200
3」を基にWaterscapeが算出)。
野田が水というテーマに出合っ
たのは小学4年生の時だ。雑誌の

付録にあった水質検査キットを使
つて、家の近所を流れる長良川
(岐阜県の支流の水質検査をした
のが最初だった。以後、毎年同じ
場所で3年にわたつて水質検査を
繰り返して、水が汚れていく様子を
確認した。長良川で水泳や釣りを
して遊んでいた野田にとって、そ
れは衝撃的な事実だった。

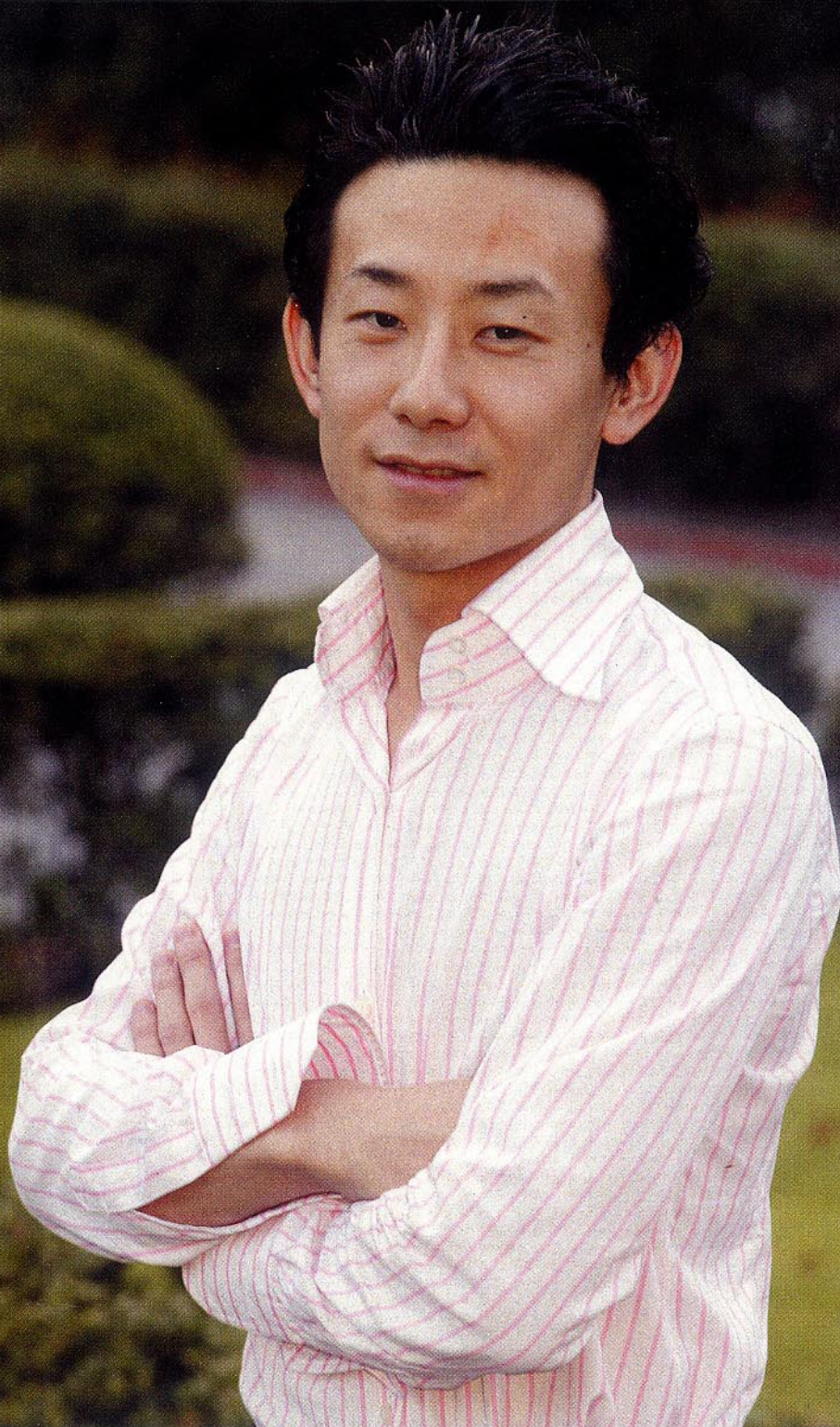
さらに、1997年1月に起き
た日本海沖重油流出事故でのボラ
ンティア活動が野田を変えた。高
校の生徒会副会長をしていた野田
は早朝に岐阜県を発ち、福井県の
事故現場で、砂浜の砂をザルに入
れて濾し、1〜数mmの「オイルボ
ール(重油の固まり)」を取り除く
作業に加わつたのだ。そして、き
れいになった砂浜を目の当たりし
て思った。

「自分の思いをぶつける場所は自
分で作ることができるんだ」
その思いが、野田を水の活動家
にした。
蛇口をひねればきれいな水が常
に手に入る日本で、水問題に注目
する若者は少ない。野田は瞬く間
に第一人者となった。大学入学後、
すぐ国際青年環境NGO(非政府

①

世界水フォーラム
1992年の地球サミ
ット以降、21世紀の持
続可能な開発に欠かせ
ない「水資源管理」が国
際的なテーマとなつて
いる。世界水フォーラ
ムとは、これを受けて、
3年に1度、世界的な
水政策のシンクタンク
「World Water Council
(WWC・世界水会議)」
が主催する会議。この
会議の下、水問題への
若い世代の参画を実現
するために、2001年
に初めて開いた会議が
「ユース世界水フォーラ
ム」だ。2003年には
50カ国、1500人以上
の若者やオランダ皇太
子ら世界のリーダーが
参加。2005年には
愛知万博で開催。20
06年にメキシコで行
われる「第4回世界水
フォーラム」でも開催す
る予定。

長良川の清流に魅せられた “水フェチ”の24歳



Takehito Noda

1981年1月、岐阜県関市生まれ。立命館大学時代、国際青年環境NGO「SAGE」を設立。WTOシアトル閣僚会議にて水産物貿易分野での声明文を提出。2003年の「ユース世界水フォーラム」では50カ国、1500人以上の若者とオランダ皇太子などの世界の要人を集めた。NPO法人世界水フォーラム市民ネットワーク理事、京都府「京都市水共生プラン」基本方針策定委員会委員を務め、現在、岐阜県関市環境審議会委員である。早稲田大学大学院公共経営研究科在籍。理事代表を務める

NPO法人のサイトは <http://waterscape.or.jp/>
本人のブログは <http://waterscape.exblog.jp/>



「愛知万博」の「ユース世界水フォーラム2005」にて、「世界青年水憲章」と「世界青年水行動計画」を採択した

組織)を立ち上げ、米シアトルでのWTO閣僚会議に参加した。

その成果が政府関係者にも認められ、2002年には半年にわたる説得を受け「第3回世界水フォーラム」事務局員に任命された。コーディネーターと最高責任者を務めた同フォーラムの公式分科会「ユース世界水フォーラム」では「日本水大賞国際貢献賞」を受賞し、着実に実績を重ねてきた。今年8月7日には、「愛知万博(愛・地球博)」で「ユース世界水フォー

ラム2005」を開催した。

ゲストスピーカーとして招いた、南アフリカ共和国(以下、南ア)前大統領ネルソン・マンデラの孫で平和・環境活動家、セツァ・ドラミニ(29歳)とは、今では「セツァさん」「タケさん」と呼び合う仲だ。

ドラミニの母国、南アがあるサブサハラ・アフリカ地域では1日に平均6000人が、きれいな水へのアクセスがないことだけを理由に亡くなっている。

母国の三菱商事などで6年半働いた経験を持ち、ビジネスに明るいドラミニは多弁だ。「世界では良い質なミネラルウォーターを飲料メーカーが買い占めるなど、水資源を巡る競争は既に始まっています。水が世界政治を動かす日も遠くないでしょう」。

水は生存に不可欠な資源だ。にもかかわらず、適正な取引ルールがないまま、ドラミニが言うように、水のビジネスを世界規模で自由化したとしたら、より多くの持たざる人たちが水を得られなくなる。だが、この実態を知り、危機感を持っている若者は少ない。

野田は地球上の水資源を守るために、私たちができる3つの方法を教えてくれた。「世界的な水問題に興味を持つこと」「日々の地道な節水」そして「地産地消」だ。

「特に若いビジネスリーダーこそ水問題を知ってもらいたい。水問題に挑戦することが、将来的にビジネスの競争力にもつながるはずです」と野田は言う。

ここ数年で、やっとその思いが実現し出している。INAXのウェブサイトに水関連のコンテンツを提供したのをはじめ、教社とのコラボレーション事業を進めており、CSR活動支援が、Waterstageのメイン業務として確立してきているのだ。

今、手がけているのは、国内の若者を集め、深刻な水問題を抱える南アに行き、10km以上の道を飲料水を運ぶために歩くなどの、現地住民の日常生活を実体験する企画だ。水問題の解決策について、南アの若者と日本の若者が話し合う場も現地で開催する予定で、南ア政府の協力も取りつけている。実体験が一番強い原動力になることを、野田は知っている。

② セツァ・ドラミニ

平和・環境活動家。南ア前大統領ネルソン・マンデラの孫。「国連ミレニアム開発目標」のユースフォーカスマンを務める。世界中の貧困、飢饉、病気の根絶を目指すグローバルに活動している。

<http://www.oceadramini.com>

③ サブサハラ・アフリカ地域

アフリカ大陸のサハラ砂漠以南47カ国